

第23回東日本事例研究オンライン研修会 発表概要シート

法人名	一般社団法人日本老人福祉財団	施設名	浜松ゆうゆうの里
発表タイトル	すっきり見やすい職場環境を目指そう！～写真と表を見て時間短縮への道へ～		
研究の目的	食事サービス課の業務の中で、以前から職員が準備する際、食器の場所が一目で分からず、数か所扉の開け閉めを行う場面があった。また、食品庫の食材を取りに行く際も、どの棚に何があるのかわかりづらく探すのに苦労し時間がかかっている姿が見受けられた。そこで職場を整理整頓して作業時間を短縮することと、すっきり見やすい職場で全員が気持ちよく仕事のできる環境になることを目的とした。		
発表の概要	有料老人ホームでの食事を入居者に提供する職場での業務改善を行いました。		
研究方法	<ul style="list-style-type: none"> ① 食器の見える化→食器の写真を撮影、ラミネート加工をして名前をつけ、棚にマグネットで貼る。 ② 食器を移動させる→使用頻度の高い食器と低い食器を入れ替える。 ③ 食品庫のリスト化→食品庫に保管してある食材の棚をリスト化し、マグネットで色分けし一目で見えるように貼っておく。 		
成果・結果	<ul style="list-style-type: none"> ① 食器の見える化→食器が一目でわかるようになったと答えたのが全体の95%残りの5%が変わらないと回答。 ② 食器を移動させる→食器出し作業は約45分から約40分に作業時間が縮まった。 ③ 食品庫のリスト化→食品庫の食材を取りに行く時間が以前は3分以上かかることもあったが30秒に短縮することができた。 		
考察	食器をまとめ写真や名前を貼ったことで、片付けや食器出しのしやすい環境になった。作業効率も上がり時間に余裕がもてた。		
アピールポイント 伝えたいこと	食事サービス課では、常に職員全員で意見を出し合いどの様にすれば業務負担軽減になるのかを日々行うことで仕事の効率化を図っています。効率化を図ることで提供する食事の確認時間をとることができ、入居者の満足度を上げる事が出来ています。また職員の働きやすい環境を作る取り組みを行い、皆が使いやすい職場を目指しています。		